

スエズ・パナマ両運河とも通航船実績が減少

運河通航船実態調査結果まとまる

当協会は、毎年会員各社の運航船舶（外国用船を含む）について、スエズ・パナマ両運河に係る通航実態・通航料支払実績の調査を実施しており、今般その結果がまとまった。

調査対象期間は、スエズ運河については2009年1月1日より同年12月31日まで(会計年度)、パナマ運河については2009年4月1日より2010年3月31日までとした。

なお、通航料については用船契約によって用船者等が支払う場合があるため、通航料の支払い実績が不明のものがあつた。このため、表中の通航料支払い実績は、調査回答船社が確認できる範囲での実績を集計したものである。

[スエズ運河]

スエズ運河の利用状況は、通航船社数が前年度比較で9社減の13社、利用隻数は23.2%減少(2009年：1,248隻/2008年：1,626隻)した。G/Tベースでは18.4%減少(2009年：74,905千G/T /2008年：91,830千G/T)し、D/Wベースでは20.5%減少(2009年：64,440千D/W /2008年：81,408千D/W)であつた。

また、料率の基本となるスエズ運河トン数(SCNT：SUEZ Canal Net Tonnage※1)ベースでは21.7%減(2009年：71,344千トン/2008年：91,153千トン)となり、全体の支払通航料も27.9%減(2009年：370,759千米ドル/2008年：514,002千米ドル)となつた。(表1参照)

船種別に見ると、タンカーが前年度比較で延べ55隻(21.0%)減少し207隻、SCNTベースで44.0%減少(2009年：3856千トン/2008年：6887千トン)、通航料も36.8%減少(2009年：27,321千米ドル/2008年：43,221千米ドル)した。コンテナ船は延べ62隻(9.7%)減少し577隻、SCNTベースでは14.1%減少(2009年：38,853千トン/2008年：45,239千トン)、通航料も12.3%減少(2009年230,917千米ドル/2008年：263,273千米ドル)した。また、自動車専用船は前年度比較で延べ248隻(46.0%)減の334隻、SCNTベースで44.2%減(2009年：18,105千トン/2008年：32,461千トン)、通航料も41.7%減(2009年：106,677千米ドル/2008年：182,829千米ドル)となつた。(表2参照)

[パナマ運河]

パナマ運河の利用状況は、通航船社数が前年度比較で2社減の17社、利用隻数は21.4%減少(2009年：887隻/2008年：1,129隻)した。G/Tベースでは17.0%減少(2009年40,632千G/T /2008年：48,952千G/T)し、D/Wベースでは14.9%の減少(2009年：38,385千D/W /2008年：45,087千D/W)であつた。

また、コンテナ船以外の料率の基本となる通航船舶トン数(PC/UMS：Panama Canal/ Universal Measurement System※2) ベースでは 29,234 千トンとなり、コンテナ船のベースとなる TEU は 1,157 千 TEU となった。この結果、全体の通航料では 12.7%の減少(2009 年：195,781 千米ドル/2008 年：224,246 千米ドル)となった。(表 3 参照)

船種別に見ると、タンカーが前年度比較で延べ 10 隻(23.8%)増加し 52 隻、PC/UMS ベースで 64.4%増加(2009 年：909 千トン/2008 年：553 千トン)、通航料も 19.5%(2009 年 3,406 千米ドル/2008 年：2,850 千米ドル)増加した。コンテナ船は延べ 81 隻(23.3%)減少し 267 隻、通航料も 23.4%減少(2009 年：95,014 千米ドル/2008 年：124,089 千米ドル)した。このほか、自動車専用船は前年度比較で延べ 92 隻減少(22.3%)し 320 隻ながらも、PC/UMS ベースでは 4.4%の増加(2009 年：21,742 千トン/2008 年：20,827 千トン)、通航料も 16.2%の増加(2009 年：70,261 千米ドル/2008 年：60,488 千米ドル)となった。(表 4 参照)

(企画部)

※1 SCNT(SUEZ Canal Net Tonnage)：

純トン数規則をもとに、スエズ運河当局独自の控除基準を加えて算出する。二重底船の船底にバンカー油を積載した場合その部分の控除を認めない等、パナマ運河や各国の規則とも異なる独特のもの。

※2 PC/UMS(The Panama Canal/Universal Measurement System)：

パナマ運河庁が採用している船舶容積の測定方法。

以上

表 1 スエズ運河通航料支払実績推移

会計年度	社数	延隻数	延千 G/T	延千 D/W	延千 SCNT	通航料			
						千 USドル	対前年比	億円(参考)	対前年比
1999	13	944	40,040	34,634	43,067	195,641	△1.2	223	△13.9
2000	12	1,019	43,992	41,279	40,680	180,582	△7.7	195	△12.6
2001	11	962	40,592	39,342	38,521	168,844	△6.5	205	5.1
2002	11	842	43,126	38,010	42,898	189,060	12.0	237	15.6
2003	13	1,034	51,053	48,155	52,018	243,051	28.6	282	19.0
2004	13	1,203	61,481	55,102	60,543	307,470	26.5	333	18.0
2005	14	1,209	61,014	56,543	58,233	303,102	△1.4	334	0.3
2006	16	1,322	61,426	52,359	57,929	330,653	9.1	385	15.3
2007	21	1,595	85,595	77,905	82,960	449,637	0.36	530	37.7
2008	22	1,626	91,830	81,048	91,153	514,002	14.3	532	0.4
2009	13	1,248	74,905	64,440	71,344	370,759	△27.9	342	△35.7

注) 2009 年の通航料の円換算率は、2009 年 1 月～12 月の平均レート(銀行間直物相場) 1 ドル=92.13 円を採った。

表 2 スエズ運河通航船実態調査 (2009.1.1~2009.12.31)

(通航料=千 USドル)

船種	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千SCNT	通航料
タンカー	7	207	3,922	6,692	3,856	27,321
鉱油兼用船	0	0	0	0	0	0
バルクキャリア	6	22	625	1,079	617	3,270
自動車専用船	4	334	18,208	6,145	18,105	106,677
コンテナ船	3	577	42,537	43,622	38,853	230,917
在来定期船	1	17	248	360	250	2,284
その他船舶	2	91	9,365	6,542	9,663	290
合計	13	1,248	74,905	64,440	71,344	370,759

注) 社数合計の 13 は、調査期間中にスエズ運河を通航した会員船社数の合計であり、船種別の社数の合計とは一致しない。

表 3 パナマ運河通航料支払実績推移

会計年度	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千PC/UMS	通航料			
						千 USドル	対前年比	億円(参考)	対前年比
1998	15	1,366	38,552	41,547	38,427	100,040	7.8	128	12.3
1999	15	1,171	35,372	37,605	36,714	95,642	△4.4	115	△10.2
2000	15	989	32,887	33,220	30,184	83,376	△12.8	92	△20.0
2001	15	951	33,151	28,597	30,797	86,250	3.4	108	17.4
2002	16	904	34,191	27,285	35,680	100,293	16.3	122	13.0
2003	14	835	32,525	27,883	30,810	102,157	1.9	122	0.0
2004	13	941	38,710	31,875	39,908	115,424	13	124	1.6
2005	17	1,011	42,158	35,998	40,083	136,981	18.7	155	25.0
2006	18	1,284	55,484	42,608	51,111	178,590	30.4	209	34.8
2007	18	1,216	52,405	43,064	34,813	204,925	14.7	227	8.6
2008	19	1,129	48,952	45,087	28,528	224,246	9.4	225	△0.9
2009	17	887	40,632	38,385	29,234	195,781	△12.7	181	△19.6

注 1) 2009 年の通航料の円換算率は、2009 年 4 月~2010 年 3 月の平均レート(銀行間直物相場) 1 ドル=92.50 円を採った。

注 2) 2005 年 5 月より、コンテナ船に対する通航料は、TEU 当たりの料金とする課徴方式に変更となったため、2007 年度調査から延 PC/UMS にはコンテナ船の分を含まないこととした。

表 4 パナマ運河通航船実態調査(2009.4.1~2010.3.31)

(通航料=千 USドル)

船種	社数	延隻数	延千G/T	延千D/W	延千 PG/UMS	延千 TEU	通航料
タンカー	6	52	1,087	1,743	909		3,406
鉱油兼用船	0	0	0	0	0		0
バルクキャリア	9	245	7,780	13,547	6,498		26,710
自動車専用船	4	320	17,362	6,258	21,742		70,261
コンテナ船	3	267	14,299	16,761		1,157	95,014
在来定期船	1	1	14	20	7	13	60
その他船舶	2	2	90	56	78		330
合計	17	887	40,632	38,385	29,234	1,170	195,781

注) 社数合計の 17 は、調査期間中にパナマ運河を通航した会員船社数であり、船種別の社数の合計とは一致しない。